

産業建設常任委員会議会報告会 記録用紙 兼 報告書

開催年月日：令和8年7月21日（火）

会 場 名：救急薬品市民交流プラザ 会議室ⅠA・B

参加者数：43名

出席議員：石田委員長、中村副委員長、高橋委員、津田委員、津本委員、長田委員

【記録者： 石田 】 No 1

議会報告会での意見等	
質問、意見の要旨	議員回答の要旨
高齢化等で管理が困難な身近な小公園について、室蘭市のように企業によるネーミングライツや運営管理の導入を検討してはどうか。	遊具の老朽化や管理困難な公園が増える中、住民意見を聞き取りながら、残す機能（拠点機能や遊具の集約）と見直す機能を整理する時期にきている。ネーミングライツについては企業側の意向を含め確認・検討していきたい。 ネーミングライツが全ての公園に適用できるわけではないが、検討に値する取組として市に働きかけていきたい。 ※後日確認したところ、射水市では既に全ての公園でネーミングライツの公募を行っているが、現在のところ応募はない。
住宅団地内の小さな公園は手に負えない現実がある。地域で必要かどうかの見直しや別の活用方法について話し合い、議会とも連携していきたい。	管理や樹木等に関する課題の深刻さは認識している。まずは地域内である程度の合意形成を図り要望を出してもらうことで、円滑な対応につながる。
説明資料（分類位置図等）が手元になく、よくわからないため、説明資料を見せてほしい。また、財政規模や人口密度が大きく異なる先進都市（吹田市等）の視察事例は参考になるのか。	資料不備をお詫びする。地域振興会へ至急配布し、HPに掲載する。 吹田市の事例をそのまま模倣するのではなく、「テーマ性を持った公園づくり」や「民間活力の導入」という考え方や方法は参考になると考える。

議会報告会での意見等	
質問、意見の要旨	議員回答の要旨
公園機能の分類や見直しに関する情報の公開時期、意見集約のスケジュールがわからない。具体的にいつ・何を公開するのか。	「都市公園等ストック再編等基本計画」に基づき、向こう 20～30 年を見据えた長期的な取組となる。具体的な整備案や判断材料となる情報は整い次第、速やかに示し、住民の皆様と対話しながら進めるよう、市に働きかける。
「都市公園等ストック再編等基本計画（以下、本計画）」は基本的な方針を市が示したと理解している。一方で現実問題として、公園内の樹木が大木化し、根上がりすると倒木するリスクがある。 また、本計画の中に「児童遊園」は含まれているか。	倒木リスクのある樹木について、課題があることを理解した。 児童遊園については、法的な都市公園ではないが「その他公園」として、本計画の 302 箇所の中に含まれている。
小杉駅周辺のまちづくりにおいて、議員が行政の決定を採決するだけでなく、自ら主導していく姿勢が必要ではないか。委員長のまちづくりに対する姿勢と意見を聞きたい。	核となる小杉駅周辺の整備・発展が市全体の利便性や活性化に波及すると考えている。立場を超えて一丸となり、小杉駅周辺のまちづくりにしっかり取り組んでいきたい。